

## 令和6年度 横浜栄高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、職務規律の徹底）	法令等を遵守する意識の向上を図り、公務外非行等を防止する。	<p>①神奈川県職員行動指針、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針の周知・徹底に努めた。</p> <p>②校長は職員と面接を行い、法令遵守意識の向上を図った。</p> <p>③不祥事防止研修、職員打合せを通じて法令遵守意識の向上を図った。</p> <p>①～③により目標は概ね達成された。</p>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員の人権尊重の意識を醸成し、職場でのハラスメント行為を未然に防止する。	<p>①不祥事防止研修、職員打合せを通じて意識啓発を行い、ハラスメントの未然防止を図った。</p> <p>②管理職は職員からの相談に真摯に対応することや、個別面談での聞き取りを丁寧に行うことでハラスメントの未然防止を図った。</p> <p>①・②により目標は概ね達成された。</p>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権を尊重する立場に立った指導を行い、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	<p>①不祥事防止研修を通じて意識啓発を行い、わいせつ・セクハラの未然防止を図った。</p> <p>②当該グループは教職員等（教育実習生を含む）に対して研修を実施し、当事者意識の涵養に努めてわいせつ・セクハラの未然防止を図った。</p> <p>①・②により目標は概ね達成された。</p>
体罰、不適切な指導の防止	人権を尊重する立場に立った指導を行い、体罰、不適切指導を未然に防止する。	<p>①不祥事防止研修を通じて意識啓発を行い、体罰や不適切な指導の未然防止を図った。</p> <p>②所掌グループが研修を実施して当事者意識の涵養に努め、体罰や不適切な指導の未然防止を図った。</p> <p>①・②により目標は概ね達成された。</p>
入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜における公平・公正さを意識し、事故のない選抜業務を遂行する。	<p>①不祥事防止研修を通じて入学者選抜業務が公平・公正に誤りなく行わるよう意識啓発を行い、業務に臨む心構えを確認した。</p> <p>②事故防止を念頭に入選業務マニュアルを作成し、研修を通じて手順を全職員で確認した。</p> <p>③入選業務マニュアルに基づいて、一つひとつの作業の意味を理解し取組むよう徹底した。</p> <p>①～③により目標は概ね達成された。</p>
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理・定期試験実施・進路関係書類作成における事故防止を図る。	<p>①所掌グループが研修を実施して統合型システムの利用手順を理解し、事故の未然防止を図った。</p> <p>②所掌グループは成績や出欠席に係る入力、点検を適切に実施させ、事故の未然防止を図った。</p> <p>③所掌グループは調査書等の進路関係書類に係る点検を適切に実施させ、事故の未然防止を図った。</p> <p>④所掌グループ・年次は要項等の確認を徹底して行わせ、進路に係る出願や推薦等の手続きを正確に実施し、事故の未然防止を図った。</p> <p>①～④により目標は概ね達成された。</p>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止するとともに、公文書の適切な管理に努める。	①個人情報の取扱いについての遵守事項を明確にするとともに、個人情報等持出し、記録媒体使用等の管理、点検を徹底し、事故の未然防止を図った。 ②所掌グループは情報セキュリティ対策に係る研修を実施し、パスワード設定や文書の誤廃棄防止等に努めて事故の未然防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
会計事務等の適正執行	私費は生徒・保護者から委託された財産であるという意識を持ち、私費に関わる事故を未然に防止する。	①管理職は「私費会計事務処理の手引」に沿って、適切に会計処理を行うよう職員を指導し、事故の未然防止を図った。 ②所掌グループは私費の取扱いについての研修を実施し、事故の未然防止を図った。 ③私費担当者は年度当初に定めた予算案に基づき、計画的な予算執行を行った。 ①～③により目標は概ね達成された。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底し、交通事故を未然に防止する。	①管理職は啓発資料等を用いた研修を実施し、交通法規遵守の意識向上に努め、事故の未然防止を図った。 ②地区交通安全大会の成果をもとにPTAと連携して交通安全の意識向上に努め、事故の未然防止を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。

## ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和6年度は、様々な研修を通じて不祥事防止の意識向上に努めてきた。特に問題となる事項はなかったが、「何もなかったから、現状のままでよい」という意識ではなく、不祥事防止のため常に「改善できることはないか」という視点で、令和7年度も取り組んでいきたい。